

鹿児島地本だより

第50号
(令和7年 新年号)

発行元 自衛隊
鹿児島地方協力本部
印刷所 南日本出版株式会社



新年のご挨拶

自衛隊鹿児島地方協力本部長
1等海佐 松浦 幸一

あけましておめでとう
ございます。皆様におか
れましては、令和七年の
新年を健やかに迎えの
こととお慶び申し上げま
す。また、旧年中は、自衛
隊鹿児島地方協力本部に
格別のご高配を賜り、厚
く御礼申し上げます。
一九五四年七月一日に
防衛庁・自衛隊が発足し、
昨年は七十周年の節目を
迎えました。自衛隊鹿児
島地方協力本部におきま
しても、自衛隊鹿児島地
方協力本部後援会及び自
衛隊鹿児島地方協力本部
OB会による創立七十周
年記念祝賀会を開催いた
だきました。

さて、国際社会は戦後
最大の試練の時を迎え、
中国は軍事力を急速に増
強し、力による一方的な
現状変更や試みを行い、
尖閣諸島周辺を含む東シ
ナ海や太平洋などで活動
を活発化させています。
北朝鮮は核・ミサイルの
開発を加速させ、弾道ミ
サイル等の発射を強行し
ており、また、ロシアはウ
クライナ侵略を継続する
とともに、日本周辺では
中国と共同での航空機や
艦艇の活動も確認されて
います。このような厳し
い状況の中、日本におい
ては防衛力の抜本的強化
が進められていて、一方
で、年々深刻な人手不足
で、年々深刻な人手不足
社会に陥り人材獲得競争
なく、人的基盤の強化が
喫緊の課題となっていま
す。

令和六年度の自衛隊鹿
児島地方協力本部の募集
は、ますます厳しい状況
が続いており、創意工夫
を凝らした募集広報を実
施しながら、部員一丸と
なって各種募集目標の達
成に邁進しているところ
です。昨年七月、自衛隊鹿
児島地方協力本部主催の
「自衛隊みなと祭り」には
多くの県民の皆様にご来
場いただくとともに、県内
各地域の様々なイベント
にも顔を出して、募集プ
ロモーションの展開及び装
備品の展示等を実施し、
自衛隊の魅力をPRしてい
ます。

謹んで新年のお祝いを
申し上げます。
自衛隊鹿児島地方協力
本部の皆様、県内の陸上、
海上及び航空自衛隊の皆
様、並びに鹿児島県防衛
協会をはじめ自衛隊協力
団体の皆様におかれまし
ては、健やかに新春をお
迎えのことと、お慶び申
上げます。

自衛隊鹿児島地方協力
本部におかれましては、
昭和29年7月に発足され
て以来、長きにわたり、自
衛官の募集や退職者の再
就職など就職支援等に尽
力されるところに、災害
や国民保護等に関する自
衛隊及び県内自治体との
連携・協力等に多大な御
支援を賜り、深く敬意と
感謝の意を表します。
また、日頃から県の防
災、救急救命など危機管
理行政の推進に格別の御
理解・御協力を賜り、厚く
御礼申し上げます。

我が国を取り巻く安全
保障環境は厳しい状況が
続いている中、自衛隊の
皆様におかれましては、
我が国の防衛はもとより、
世界の平和と安全に
向けた国際平和協力活動
や頻発・激甚化する自然
災害等から国民の生命と
財産を守る災害派遣など、
広範・多岐にわたる崇高
な任務を着実に遂行され
ており、国民の厚い信頼
を得るとともに、国民の
期待とその果たすべき役
割は、ますます大きく
なっております。

本県におきましても、
離島で発生する急患の搬
送や昨年8月の宮崎県日
向灘を震源とする地震の
影響による霧島市国分地
域での給水支援、また県
総合防災訓練をはじめと
する各種災害対応への訓
練参加など、数々の任務
を遂行していただき、心
から感謝申し上げます。
自衛官を志願し入隊さ
れる若者を本県も毎年多
く輩出しており、そうし
た隊員の皆様の顕著な御
活躍を拝見するたび、大
変心強く感じておりま
す。

自衛隊鹿児島地方協力
本部の皆様には、引き続
き、県内自治体及び県民
と自衛隊部隊及び隊員の
皆様の繋ぐ架け橋として
御支援を賜りますよう、
お願い申し上げます。



新年のご挨拶

鹿児島県防衛協会
会長 塩田 康一



新年のご挨拶

自衛隊鹿児島地方協力本部後援会
会長 島田 実

あけましておめでとう
ございます。自衛隊鹿児島地方
協力本部後援会員の皆様を
はじめ、自衛隊鹿児島地方協
力本部の隊員の皆様並びに
防衛協力諸団体の皆様方に
謹んで新春のお慶びを申し
上げます。

昨年中は当後援会に対し
まして、関係機関及び団体の
皆様方から格別のご高配を
賜り厚く御礼を申し上げます。
さて、昨年行われたパリオ
リンピック、パラリンピック
では世界のアスリートたち
の躍動感溢れる活躍で盛り
上がった方もいらっしゃる
のではないのでしょうか。平
和の祭典と称され共に競い、
戦いそして相手を称賛する
姿勢に感動をおぼえました。
しかし、今、世界の一部地
域においては、戦争や利権に
関わる紛争が泥沼化する中、
一方では主導権を握ろうと
する国々において、無人兵器
の活用及びAIシステムを
搭載した兵器の開発競争が
加速しているとニュースに
て報道されます。これにより
各国は、高度化かつ複雑化し
た環境に直面するとともに、
他国との関係を見直し強化
するなど、その様相が大きく
変わりつつあるように思え
ます。

このような中、我々は古よ
り培ったこの国や故郷の伝
統・文化をはじめ、美しい自
然を次の世代に継承し、自由
と民主主義そしてかけがえ
のない平和と繁栄を追求し

新年のご挨拶

公益社団法人隊友会
鹿児島県隊友会

会長

兒玉健二郎



明けましておめでとうございます。
自衛隊鹿児島地方協力本部の皆様、そして県内の自衛隊協力諸団体の皆様方におかれましては、ご健勝にて新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

皆様方には、日頃から隊友会活動に対し、絶大なるご支援・ご協力を賜っており、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

地方協力本部の皆様方におかれましては、国内外政治・経済情勢の不安定、少子高齢化、入隊適齢人口の減少、高学歴化、経済活動の低迷等、極めて複雑かつ厳しさを増しつつある中、松浦本部長の御統率の下、総力を挙げて募集・援護等の業務に日々邁進されておられることに対し、心から敬意を表します。

さて、ロシアによるウクライナ侵攻の行方も見通せない中、益々厳しさを増しつつあるイスラエル・パレスチナ情勢、そして我が国周辺地域における安全保障環境も、今までにない程、緊迫の度合いを高めつつあります。

こうした中、政府は、これまでの受動的防衛体制を見直し、自衛隊の統合運用態勢を確立するとともに、人的基盤の充実、後方・兵站基盤の拡充等、我が国の安全保障戦略の抜本的改革を急速に推進しつつあります。

自衛隊を取り巻く環境は、益々厳しさを増しつつありますが、隊員諸官は、頻発する自然災害対応をはじめ、いつ如何なる事態にも迅速に対処可能な即応態勢を保持しつつ、日々厳しい訓練に励んでおります。

私たち隊友会も、鹿児島地方協力本部をはじめ、県内の防衛協力諸団体と密接な連携を図りつつ、「国民と自衛隊の架け橋」として積極的に活動してまいる所存であります。

終わりに、鹿児島地方協力本部の益々のご発展と関係各位のご健勝・ご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶

公益財団法人自衛隊家族会
鹿児島県自衛隊家族会

会長

有村長藏



明けましておめでとうございます。
自衛隊鹿児島地方協力本部の皆様、協力諸団体の皆様、ご健勝にて新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

地方協力本部の皆様には、自衛隊家族会の活動につきまして、県内各地で大変お世話になっており、感謝申し上げます。

皆様におかれましては、入隊適齢人口の減少、高学歴化等の厳しい募集環境での自衛官募集並びに退職予定隊員の就職援護について本部長を核心として地道にかつ確実に任務を遂行されている事に敬意と感謝を申し上げます。

昨年自衛隊家族会として、『自衛官募集中』の職を各募集事務所に贈呈させて頂き、同時に、主要駅での募集チラシやティッシュの配布、自衛隊みなと祭りでは各コーナーでのお手伝いなど募集活動にお役に立てればとの思いからできる限りのご支援をさせていただきました。

自衛隊は日夜の間断なく警戒・監視任務を継続するとともに、昨年は元旦に発生した能登半島地震では陸海空自衛官が延べ114万人以上が派遣され、人命救助や給水支援・入浴支援を行うとともに、孤立集落に救援物資の入ったリュックを背負い険しい山を登る姿を映像で目にしました。が大変頼もしく又良く頑張っているなど感じました。

私たち自衛隊家族会は、今後も隊員の身近な存在としてあらゆる機会をとらえて自衛隊を支援して参りたいと考えております。

終わりに、鹿児島地方協力本部の益々のご発展、部員の皆様並びに関係各位のご健勝・ご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

令和6年度自衛隊殉職隊員 慰霊祭を支援

自衛隊鹿児島地方協力本部（本部長 松浦幸一 海佐）は、令和6年10月5日（土）、鹿児島県護国神社において鹿児島県隊友会が主催する「令和6年度自衛隊殉職隊員慰霊祭」を支援した。

本慰霊祭は、昭和40年から実施され鹿児島県護国神社に祀られた111柱の御霊の安らかな眠りを祈念するものであり、鹿児島県隊友会が主催しご遺族を招いて肅々と執り行われた。ご遺族は平均年齢が75歳と高齢者が多いにもかかわらず23名の方々に参列いただいた。

昨年、新型コロナウイルスが5類感染症に移行し、県内の各種行事がコロナ禍以前の様相を見せている中で、本慰霊祭は引き続き感染症にも留意しつつ、ご遺族の強い希望である本殿において多数の参列者を得て厳かに執り行われた。

参列したご遺族からは、「感染症対策を始め、きめ細やかな対応により、今年も参列することができた。」「久しい顔ぶれに会えて嬉しい。」「慰霊祭後の直会（なおりい）も楽しみの一つにしています。」との声が聞かれ、また主催者である隊友会からは、「ご遺族と共に、我が国の安寧に寄与した御霊に礼を尽くすことができて安心した。ご遺族を始め、各協力団体及び各部隊長のご理解、ご協力に深謝します。」との声も聞かれた。

自衛隊鹿児島地方協力本部は、

「今後も111柱の御霊に敬意を表し、ご遺族の平穩のためご家族を失ったご遺族の心に寄り添う懇切丁寧な対応を継続するとともに、遺族援護業務を着実に推進していく。」としている。



令和6年度

感謝状贈呈

（敬称略）

防衛大臣感謝状（団体）

◎募集功労
鹿児島県立 奄美高等学校

防衛大臣感謝状（個人）

◎一般功労
牛牧 光男
（自衛隊遺族会鹿児島県支部連合会会長）

◎募集功労
大倉 清
（募集相談員・喜界町）

本部長感謝状

◎一般功労
木房 巧誠
（鹿児島県隊友会副会長）

◎募集功労（団体）
学校法人原田学園 鹿児島情報高等学校
学校法人日章学園 鹿児島城西高等学校

◎募集功労（個人）
山下 忠一
（与論町元家族会会長）

福元 岬
（吾平町元家族会会長）

松崎 哲也
（薩摩川内市家族会会長）

益山 剛
（出水市募集事務担当者）

秋丸 哲郎
（徳之島町募集事務担当者）

井川 博史
（徳之島町募集事務担当者）

◎予備自衛官等雇用功労
広域医療法人
EMS松岡救急クリニック
株式会社 ニヤクコーポレーション
九州支店鹿児島事業所

◎就職援護功労
株式会社 迫立造園
株式会社 西村

公益財団法人
鹿児島県民総合保健センター
阿久根商工会議所
センターフーズ株式会社

各所・センターの話題

11月 れいめい中学校職場体験
(川内駐屯地)

薩摩川内出張所



9月 TH-135体験搭乗
(鹿屋航空基地)

鹿屋地域事務所



7月 第8師団音楽隊演奏指導
(国分高等学校)

国分地域事務所



8月 サンポートしぶしアピア
市街地広報(志布志市)

大隅地域事務所



9月 ラジオ番組「AIR' z69」
に出演(エフエム鹿児島)

鹿児島募集案内所



11月 リクルーターを活用した
広報活動(指宿商業高校)

知覧分駐所



10月 第8師団島しょ演奏会
(奄美川商ホール)

奄美大島駐在員事務所



9月 海上自衛隊&米海軍
フレンドシップコンサート(屋久島町)

種子島駐在員事務所



9月 サマーキャンプ2024
(那覇駐屯地・那覇基地)

徳之島駐在員事務所



9月 就職援護担当者会同
(奄美駐屯地)

鹿児島地域援護センター援護班



8月 退職自衛官雇用企業研修
(霧島市敷根清掃センター)

国分駐屯地援護センター



9月 就職補導教育
(勘場蒲鉾)

川内駐屯地援護センター



臨時勤務隊員の活躍

臨時勤務を終えて

私は航空自衛隊第19警戒隊(海栗島)所属で、普段は警戒管制レーダー整備員として警戒管制レーダー等の整備をしている猪谷士長です。

今回、知覧分駐所に臨時勤務を命ぜられた、令和6年7月1日から同年8月31日までの2か月間で私が経験し、学び、感じたことをまとめました。

知覧分駐所では、市街地広報、募集ポスターの掲示、母校訪問(鹿児島県立鹿児島水産高校)や説明会への支援など、さまざまな業務に携わらせていただきました。原隊とは全く異なる業務内容に初めは戸惑いでしたが、地元で勤務できるせっかくの機会だったため、楽しくやってみようと思い、一生懸命取り組むことができました。学校訪問をした際には、母校はもちろん、母校ではない学校でも知っている先生や生徒に再会しました。このような経験は、地元でなければできなかっただろうと思います。そして、その方々に自衛官として成長した自分の姿を見ていただいたことで、自衛隊という組織をもっと身近に感じてもらうことができたと思います。

この2か月間で最も大きなイベントだった自衛隊みなと祭りでは、自衛隊公式キャラクター「まもる君」や鹿児島地本公式キャラクター「リックン」と来訪者へ声掛け等を行いました。老若男女問わずとても多くの方々が参加されていて、艦艇公開等を通して自衛隊について知ってもらうことができました。自衛隊グッズの配布中に、小さな子に敬礼されて私が答礼した時の嬉しそうに笑ってくれた笑顔は強く印象に残っていますし、臨時勤務に来て良かったと思いました。

また、たくさんのイベントで陸上自衛官、海上自衛官及び事務官等と一緒に勤務する中で、同じ自衛隊でもたくさんの違いがあることを学びました。陸上自衛隊の駐屯地と海上自衛隊の航空基地にも行くことができ、航空自衛隊との違いを肌で感じられました。このようなことも、原隊では経験することは難しかったと思います。

知覧分駐所での臨時勤務で、募集広報業務の内容や重要性について理解することができました。この間に得た貴重な知識や経験を、今後の自衛隊生活に大きく役立てたいです。

知覧分駐所



臨時勤務隊員、 募集対象者等へ自衛隊の魅力を発信

国分地域事務所は、令和6年7月8日(月)から同年8月16日(金)までの間、第101指揮所通信大隊(札幌)から臨時勤務として、有馬碧泉陸士長の支援を受け、学校説明会、進路ガイダンス及び各種イベント等の募集業務を実施した。

有馬士長は、令和4年3月に国分地域事務所から入隊した隊員で、今回の臨時勤務は所からの要望と本人の希望に加えて、所属部隊の募集業務に対する深い理解によって実現したものである。

有馬士長は臨時勤務の間、3校の学校説明会及び3回の地域説明会に参加して、自衛隊に興味のある高校3年生に対し現在の職務内容、入隊動機及び入隊前後の心境等を分かりやすく説明を行った。また、進路ガイダンスや各種イベントにも参加し、来場する募集対象者に対し自衛隊の魅力及びやりがいや熱心に伝えるとともに、中学生への職場体験学習においては、自衛隊の職業観及び魅力を最大限アピールする等、自衛隊への理解促進及び防衛基盤の拡充を図ることができた。各種説明会等において同世代の強みを生かして募集対象者と積極的に、コミュニケーションを図るとともに質問等に対して真摯に受け答える姿が印象的であった。

母校(県立加治木工業高校)において帰郷広報を実施した際には、温かく迎えてくれた校長先生及び当時の担任教諭らは、卒業後見る教え子の凛とした制服姿に大変感心するとともに、驚いた表情をされていたのが印象的であった。

臨時勤務を終えた有馬士長からは、「現場で募集業務の難しさや現状を肌で感じて、広報官の方々の業務を少しでも支援できたことは、大変貴重な経験であり、このような機会を頂けたことに感謝しています。また、私が説明を担当した募集対象者が一人でも多く自衛隊への門をくぐってもらえたらと思います。臨時勤務間に得られたことを今後の自衛隊での勤務に活かしていきたいです。」などと感謝と感想を述べていた。

国分地域事務所



令和6年度 自衛隊みなと祭りを開催

陸海空自衛隊が鹿児島本港北埠頭で自衛隊をPR



護衛艦「あきづき」の満艦飾



錦江湾クルーズの様子



装備品展示会場の様子



本部長と広報大使「斎藤奈菜香さん」「薩摩剣士隼人」記念撮影の様子

自衛隊鹿児島地方協力本部は、令和6年7月27日(土)、28日(日)鹿児島地本の一大イベントである「令和6年度自衛隊みなと祭り」を、鹿児島本港北埠頭において陸海空それぞれの部隊から最大限の支援を得て開催し、県内外から約5000名の来場者があった。

27日(土)には、海上自衛隊護衛艦「あきづき」及び訓練支援艦「くろべ」の体験航海を実施し、募集対象者や関係協力団体から357名が参加し、自衛隊艦艇での錦江湾クルーズを楽しんだ。

28日(日)は、同艦艇の艦艇公開が行われ来場者への一般公開の他、鹿児島県、熊本県及び宮崎県の募集対象者に対する特別公開やカレーの体験喫食が実施された。

装備品展示では、陸上自衛隊からは、第12普通科連隊(国分)の高機動車、オートバイ及び軽装甲機動車、第2特科団(湯布院)の19式装輪自走155mmりゅう弾砲、航空自衛隊からは、第5航空団(新田原)の基地防空用地対空誘導弾、第8高射隊(高良台)の地对空誘導弾ペトリオット発射機の展示を実施し、さらに会场上空でのF-15の展示飛行を実施した。

イベント会場内のステージにおいては、学生によるパフォーマンスとして、鹿児島高等学校吹奏楽部の音楽演奏、鹿児島国際大学学生を中心としたメンバーによるユーフォニアム演奏及び鹿児島県出身高校生ダンサーによるタヒチアンダンスが実施され、自衛隊のパフォーマンスとして鹿屋航空基地若鷲太鼓、第8施設大隊薩摩川内炎児太鼓の和太鼓演奏、第12普通科連隊による格闘展示、陸海空自衛隊制服ファッションショー等を実施した。また、鹿児島県自衛隊広報大使のシガーソングライターYOKO*さんによるライブパフォーマンス、鹿児島地本じゃんけん大会等盛りだくさんのステージイベントであった。ステージ周辺では、鹿児島県広報大使である薩摩のヒーロー「薩摩剣士隼人」、モデルの「斎藤奈菜香」さん、陸上自衛隊自衛隊公式キャラクター「まもる君」及び鹿児島地本公式キャラクター「りっくん」が来場者と記念撮影を行い会場は大いに盛り上がった。

催事イベント会場では、陸海空自衛隊のVR体験コーナー、航空機の操縦桿の展示、鹿児島地本特製グッズガチャガチャコーナー及び陸海空自衛官の制服試着コーナーにそれぞれ多くの来場者が訪れ、陸海空自衛隊を存分に楽しんでいたイベントになった。



人事往来

【転出者】

3等陸佐 米森 一也
西部方面情報隊(国分駐屯地援護センター)
2等陸尉 中野 寛裕岐
第113教育大隊(薩摩川内出張所長)
陸曹長 橋口 光利
第364会計隊(総務課)
海曹長 東梅 勇一
鹿屋航空基地隊付(募集課)
1等空曹 須見 征弘
飛行教育航空隊(募集課)
2等空曹 小山田 誠
第5航空団(援護課)

【転入者】

3等陸佐 福元 昭広
薩摩川内出張所長(第4師団司令部)
2等陸曹 前田 祐也
総務課(第392会計隊)
2等海曹 長野 優憲
募集課(第1整備補給隊)
3等空曹 藤原 有理
募集課(第5航空団)

【定年退職者】

陸曹長 小原 親司
陸曹長 松山 勝良

自衛隊鹿児島地方協力本部 099-253-8920

鹿児島地本HP

鹿児島地本 検索

事務所名	電話番号
薩摩川内出張所	0996-22-2401
鹿屋地域事務所	0994-42-4386
国分地域事務所	0995-45-1836
大隅地域事務所	099-482-1405
鹿児島募集案内所	099-251-7802

事務所名	電話番号
知覧分駐所	0993-83-1811
奄美大島駐在員事務所	0997-53-9103
種子島駐在員事務所	0997-23-0299
徳之島駐在員事務所	0997-83-3080

陸海空自衛官募集

陸

海

空

自衛官

ここにしかない成長。
ここにしかない経験。